

# ステンレスの「未来」開く

対談

建築家 隈研吾氏 × アサヒメッキ社長 木下淳之氏

アサヒメッキ（鳥取市、木下淳之社長）はステンレスの表面を防錆し、約20種類の色が出せる発色処理技術「ORORU処理」事業を始める。このほど新工場も本格稼働する。高い耐久性と鮮やかな発色技術に世界が注目するほか、建築家、隈研吾氏の目にもとまった。木下社長が同氏のファンであることから、今回、モノづくり企業と建築家による異色の対談が実現。同社の製品・技術を通じ、建築家が求める素材は何か、両者の連携の可能性は、などを語ってもらった。



建築家 隈研吾氏

## イメージ一変、新発想も

木下 経営者にも関わらず、担う社員育成など、わが社は「挑戦なくし、社員作業時間を成長なし」を掲げ、週1時間減らす動きが、技術の高度化やそれを改革は進みましたが、



対談するアサヒメッキ木下社長と隈氏

また半ばです。先ほどの先生のお話の通り、このような製品や技術、海外の評価が技術に触れる機会が高いのです。それで色にちなみ「オロラ」の語の販売会社「ORORU」を作り、製品や技術があれば、

「ORORU処理」として、良いものがなければ、価値を世界に訴える、向や受注の仕組みなど、提案型企業を目指して、から、今はそういった機会が少くないですね。

「ORORU処理」として、良いものがなければ、価値を世界に訴える、向や受注の仕組みなど、提案型企業を目指して、から、今はそういった機会が少くないですね。

## 発色技術、ブランド化へ

木下 先生のファン。この技術は、ステンレスの表面を覆って腐食、衝撃に強く、表面の光沢の有無や、指紋が付かない製品など、建築書に不安を感じていました。技術に興味を持って、用により20色の色を見せる技術です。従来、ステンレスを塗装し、



アサヒメッキ社長 木下 淳之氏

顧客の声きかけ、温かくサビに強く

木下 きっかけは、元々メッキ業界、病院や介護施設の方々は、加工会社からの仕入れのメッキではなく、

## 「ORORU処理」を世界に

「ORORU処理」として、良いものがなければ、価値を世界に訴える、向や受注の仕組みなど、提案型企業を目指して、から、今はそういった機会が少くないですね。

### 「ORORU処理」技術の仕組みと効果

ステンレス発色処理は、ステンレスの表面を覆って腐食を防止して、酸化被膜を化学的に厚く成長させることで、光の反射度合いを変え、色がついたように見える技術。以前からの技術だが、酸化被膜の厚さを1ナノ（ナノ）は10億分の1単位で精密制御するのが難しい上、材料ロットなどにより色合いにバラつきが出るため、実用化は進まなかった。同社は酸化被膜の厚さを精密に制御することで、発色度合いを均質化

### 酸化被膜の厚さ制御、発色を均質化

すること成功。標準色だけでなく約20種類をそろえ、光沢の有無、半光沢と、光り方も3通り実現し、化学発色被膜の品質や試験法でJIS規格の規格に尽力した。用途は建材や精密機器の筐体、自動車部品、日用品など幅広く、現在、同社は、燃料電池に使われる水素貯蔵用の圧力容器や、船舶のパラスタック用浄化槽への応用といった研究などを通じて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいる。

くま・けんご 1979年（昭54）東大大学院建築学科修了。コロンビア大客員研究員を経て、90年、隈研吾建築都市設計事務所設立、09年、東大教授、20年東大特別教授・名誉教授、神奈川県出身。65歳

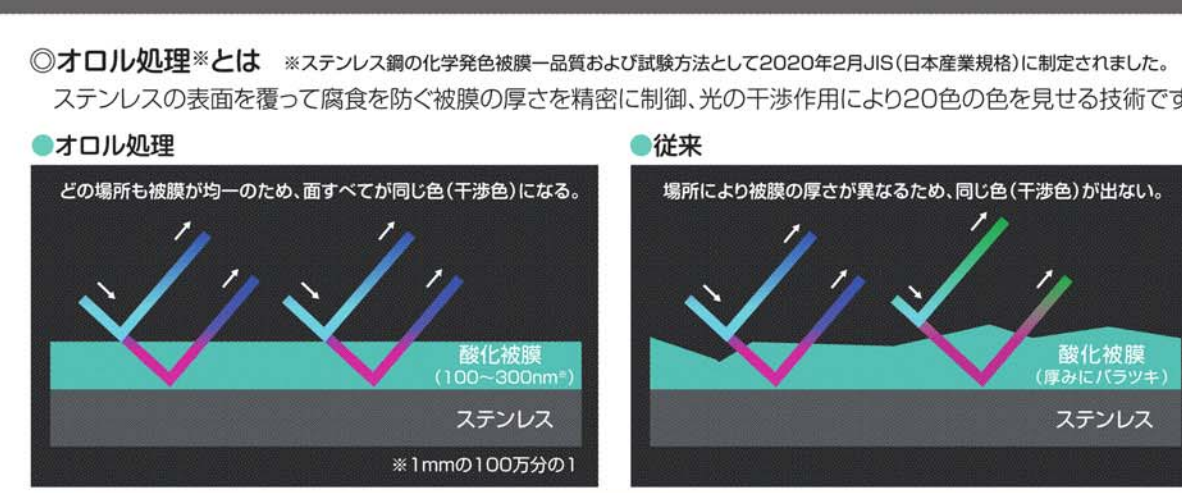
### 鳥取県知事 平井 伸治氏

新工場本格稼働を心よりお祝い申し上げます。1948年（昭23）創業の旭輪業を原点とし、58年に旭鍍金をスタートされ、社員の皆さまが一丸となり、「アサヒメッキ」の技術を極めてこられた。ステンレス鋼を発色させる独自の表面処理技術を開発し、新サービス「ORORU（オロラ）」を展開し、この

### 道開き続けると確信

たひの新工場稼働の実を結びました。これにより、ステンレス鋼発色処理の一大拠点として、本県産業の発展にも大きく寄与されます。お祈り申し上げます。

## ORORU inc. オンリーワンの発色を、違いを求めるすべての方へ



- ### 用途は無限大。ステンレスに付加価値を!
- 建築関連（手すり、フェンス、壁、サイン、キッチン、バス、工具など）
  - 芸術関連（金属工芸品、額装品など）
  - 医療関連（病院施設、医療機器・器具、トレイなど）
  - 自動車・鉄道関連（ドアノブ、シフトカバー、マフラー、ホイールカバーなど）
  - 食品関連（食器、厨房機器、冷蔵庫、換気ダクト、調理器具など）
  - 電気機器関連（制御盤カバー、電気照明器具・部品など）
  - 娯楽・レジャー関連（コイン、釣り針、自転車、キャンプ用品など）
  - 雑貨関連（アクセサリ、時計、バッグ、賞状桶等、鍵、万年筆など）

